京都大学大学院人間・環境学研究科第43回国際交流セミナー

ジョン・ラスキンの文化財保存

The Conservation of the Cultural Heritage in John Ruskin

一般の大衆によっても、また公共の記念建造物を管理するものによっても、修復ということばの本当の意味は理解されていない。修復とは、建築があたうかぎりの徹底的な破壊、そのむかしの面影がまったく想像できないほどの破壊を受けることを意味する。そしてその破壊には、破壊されたものについての偽りの描写がつきものなのだ。

———ジョン・ラスキン、『建築の七燈』（1849年）より

19世紀の美術評論家ジョン・ラスキン（1819-1900年）は、『建築の七燈』のなかで「修復」をこう定義しています。このセミナーでは、ここで述べられている「修復」という概念を、ほかの理論と比較しながら議論を進めていきます。「修復」と「保存」のちがいに注意を向ける彼の文化財に対する態度は非常に示唆に富んでおり、今後も重要な考え方として受け継がれていくべきものです。

日時： 2013年5月23日（木）
18:15 - 19:30　講演会　※講演会は英語で行われます。
19:40 - 20:40　懇親会

場所： 人環棟233演習室

講師： オリンピア・ニリオ
（イタリア・eキャンパス大学教授）
Prof. Olimpia Niglio

建築家、フェデリコ2世・ナポリ大学にて建築保存学博士号取得（1999年）、ピサ大学建築修復学研究員を経て、イバグエ大学（コロンビア）総合科学部建築科教授（2006年）、ホルヘ・タデオ・ロサノ大学ボゴタ校客員教授（コロンビア）、コンセプシオン大学客員教授（チリ）、イタリア文部省の任命でeCampus大学コモ校（イタリア）にて教鞭を取る。

人間・環境学研究科の客員教授によるセミナーです。専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加ください。懇親会のみの参加も歓迎します。

主催　：人環国際交流委員会
問合せ：国際交流委員・留学生アドバイザー
藤田（ fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp ）